

講演会

「糸魚川 - 静岡構造線が生み出した自然資源と魅力」第3弾

南アルプスは3,000m級の山々からなり、この山地の形成には糸魚川-静岡構造線と呼ばれる日本列島を東・西に二分する大きな断層が関係しています。北米プレートとユーラシアプレートの境界部に誕生した南アルプスは、特有の気候の影響を受け、谷は深く浸食され、一方で豊富な動・植物が分布しています。

今回は、山梨県森林総合研究所の特別研究員 長池卓男氏に南アルプスの植物についてのお話を伺います。

南アルプスの植物相は、非常に長い

時間をかけて形成されました。しかし最近ほんの10年程度で、大きく変化してきています。それは何によるものかなど、考えてみたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。



奈良田集落

◎日時 令和7年11月29日(土) 午前10時～午前11時30分

(受付は午前9時30分から)

◎会場 早川町役場2階会議室 (住所:早川町高住758)

◎参加料 無 料

◎ 演 題

- ・「南アルプスの植物に迫る危機とは？」

..... (山梨県森林総合研究所 特別研究員 長池卓男氏)

問い合わせ先：日本上流文化圏研究所 (電話：0556-45-2160, <http://www.joryuken.net/>)
:メール info@joryuken.net

主催：日本上流文化圏研究所

糸魚川 - 静岡構造線資源活用プロジェクト in 早川